

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 帯広市における調査結果の状況

1 はじめに

帯広市教育委員会では、平成21年度に国が初めて全ての小学校第5学年、中学校第2学年を対象に調査実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を受けて、児童生徒が積極的に運動に親しみ、体力・運動能力等の向上を図る教育活動や教育課程、指導方法の具体的な改善点などを明らかにしてまいりました。

また、体力・運動能力等は食生活等の生活習慣と関わりが深いことから、児童生徒保護者向けに、望ましい食習慣に関するリーフレットを作成・配付するなど、啓発活動に努めるとともに、国の調査が抽出校のみの調査となった平成22年度をきっかけに、帯広市教育委員会としては本市児童生徒の体力・運動能力の概要について独自に実態を把握し、今後の指導の工夫・改善を図るため、「新体力テスト」を活用した「帯広市体力・運動能力調査」を実施し、分析を行っております。

今年度、本調査は、新型コロナウイルス感染症の影響から、2年ぶりに国の悉皆調査として実施された結果から、次のとおり本市の概況をまとめました。

2 調査の目的

- (1) 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、児童生徒の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

3 調査の対象学年

市内小学校 第5学年 児童

市内中学校 第2学年 生徒

4 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

小学校 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ (※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

※文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするために、平成11年度から実施している「新体力テスト」の8種目を実施（詳細は文部科学省ホームページ参照）

※ボール投げは、小学生ソフトボール、中学生ハンドボールで実施

イ 質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

5 調査の方式

悉皆調査（対象の全児童生徒が参加）

6 調査時期

令和3年4月から7月末までの期間で実施

7 調査を実施した学校・児童生徒数

	小学校（校）	児童（人）	中学校（校）	生徒（人）
全 国（公立）	18,981	1,018,564	9,533	916,758
北海道（公立）	990	38,872	599	36,308
帯 広 市	26	1,268	14	1,184

※表中の全国及び北海道（公立）の数値は、「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 調査結果のポイントについて～北海道（公立）における調査結果～」より抜粋

※表中の帯広市児童生徒数は、標本数が最も多かった種目等の児童生徒の人数で算出

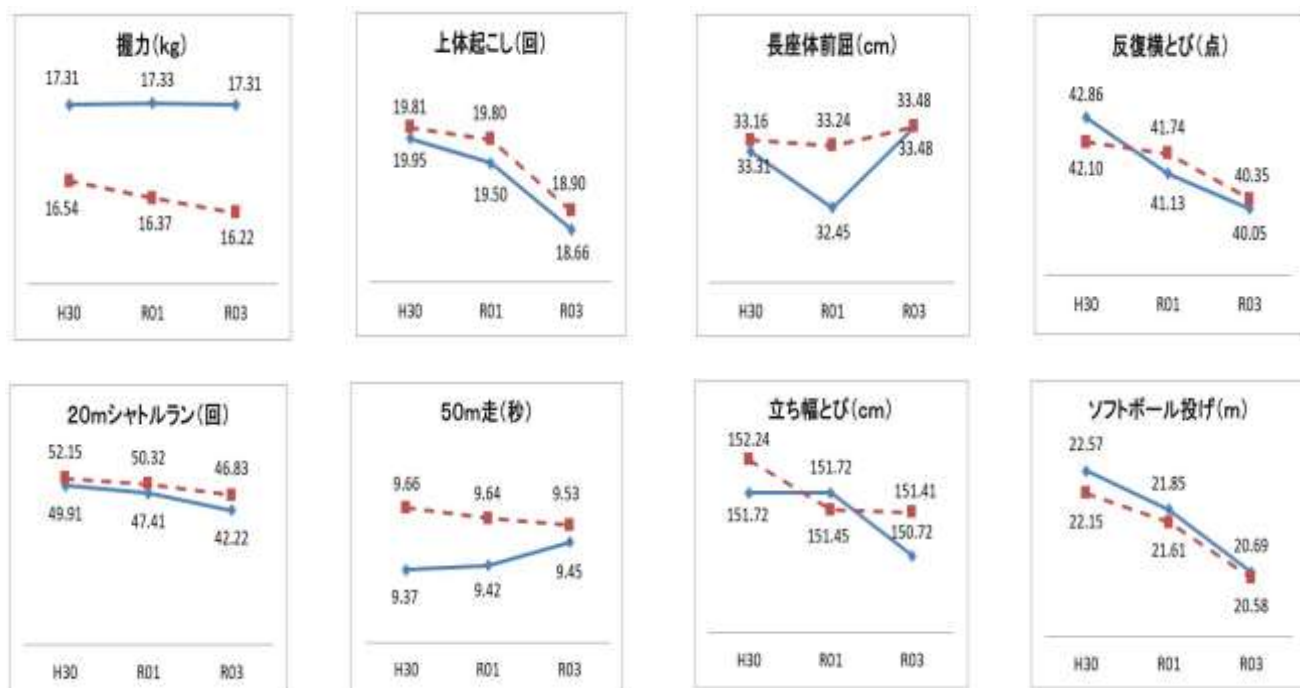
8 実技に関する調査結果

(1) 小学校男子

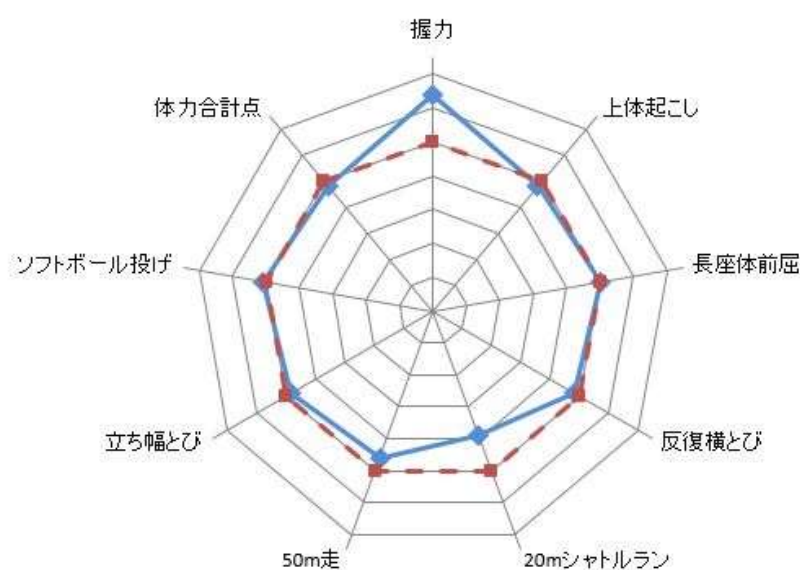
① 各種目の記録及び体力合計点

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャツ ラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボー ル投げ(m)	体力合計点
帯広市	記録	17.31	18.66	33.48	40.05	42.22	9.53	150.72	20.69	52.19
	全国差	1.09	▲ 0.24	0.00	▲ 0.30	▲ 4.61	▲ 0.08	▲ 0.69	0.11	▲ 0.33
	全道差	0.35	0.14	0.19	▲ 0.21	▲ 0.49	0.15	▲ 0.08	▲ 0.38	0.39
全国	記録	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
北海道	記録	16.96	18.52	33.29	40.26	42.71	9.68	150.80	21.07	52.51

※種目の網掛けは全国以上



② 各種目の全国との比較 (T 得点)



T 得点～全国を 50 とした時の値

◆ 帯広市
■ 全国

体力合計点 — 全国



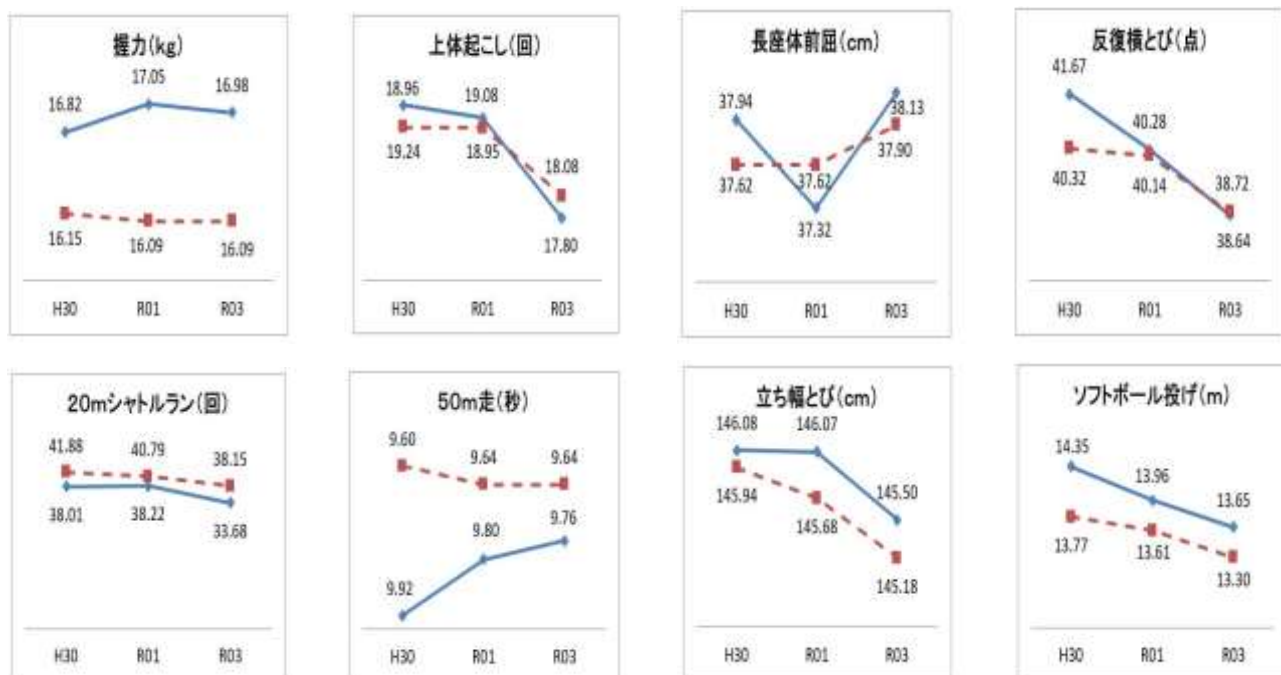
体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

(2) 小学校女子

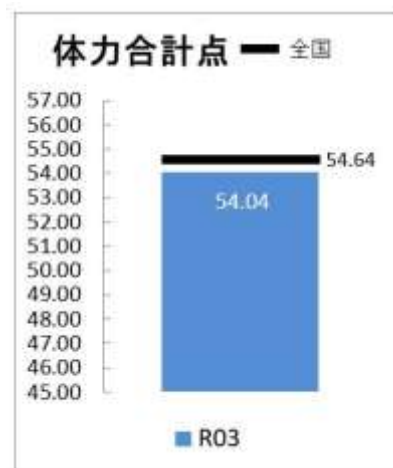
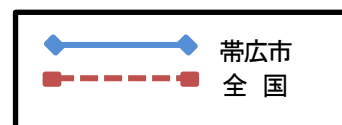
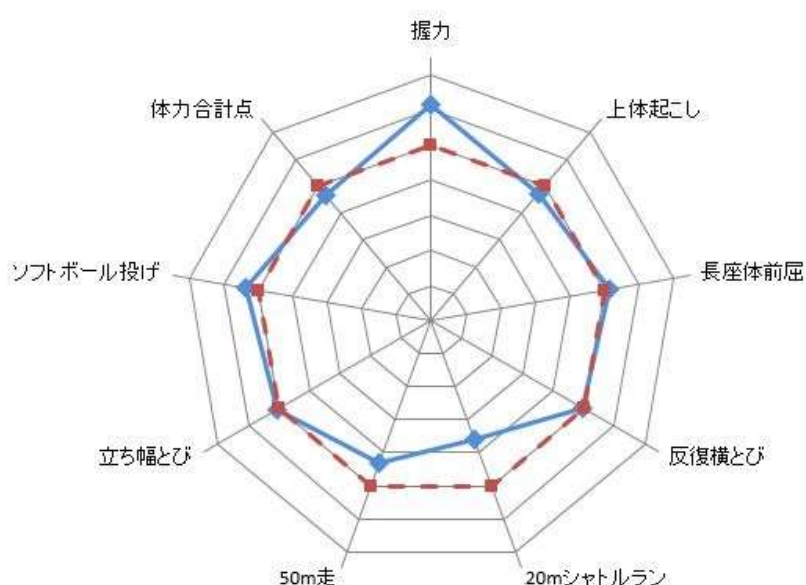
① 各種目の記録及び体力合計点

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトル ラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボー ル投げ(m)	体力合計点
帯広市	記録	16.98	17.80	38.13	38.64	33.68	9.76	145.50	13.65	54.04
	全国差	0.89	▲ 0.28	0.23	▲ 0.08	▲ 4.47	▲ 0.12	0.32	0.35	▲ 0.60
	全道差	0.27	0.26	0.46	0.18	▲ 0.65	0.08	1.47	0.26	0.48
全国	記録	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64
北海道	記録	16.71	17.54	37.67	38.46	34.33	9.84	144.03	13.39	54.56

※種目の網掛けは全国以上



② 各種目の全国との比較 (T得点)



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

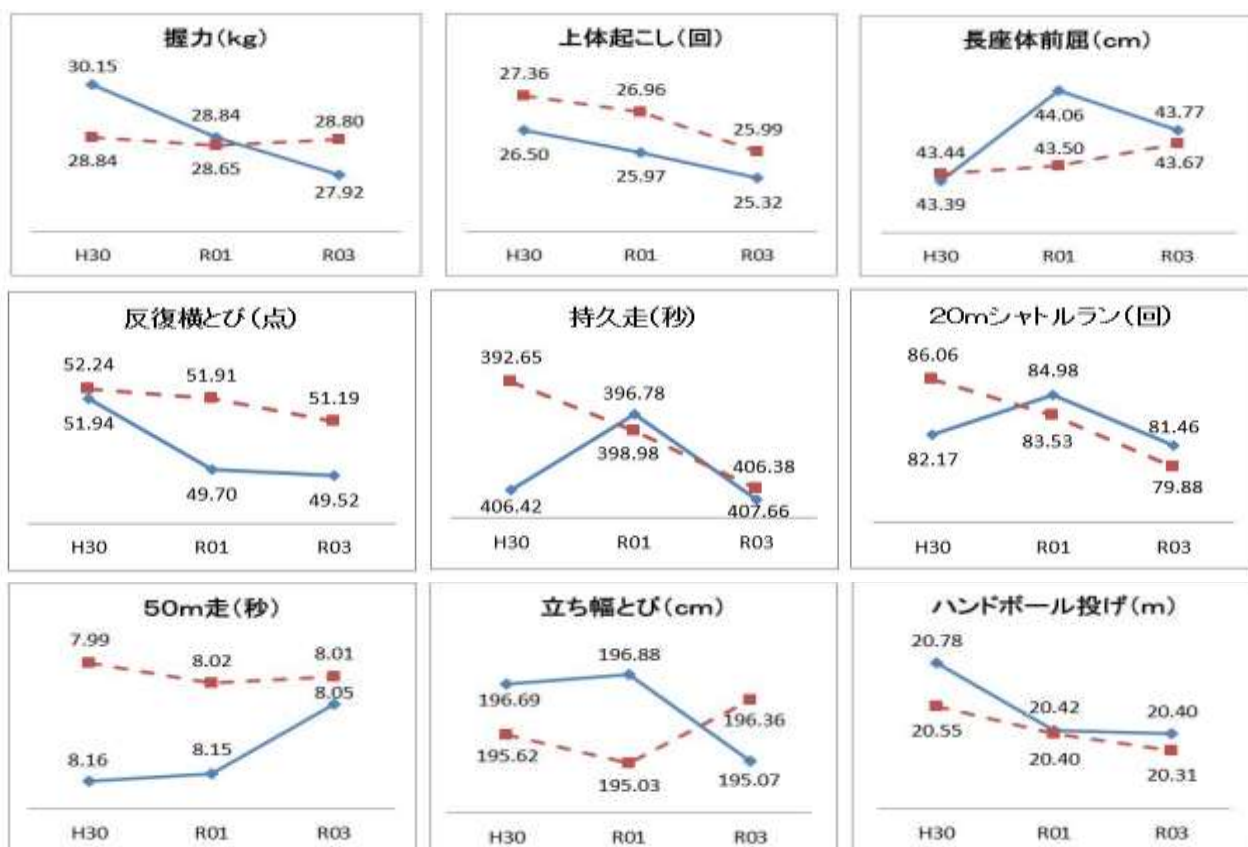
T得点～全国を50とした時の値

(3) 中学校男子

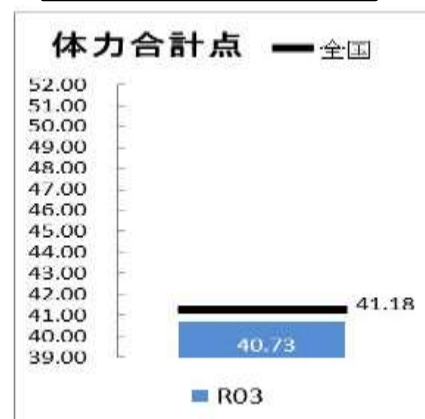
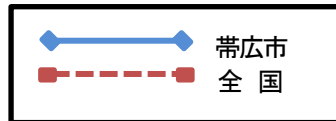
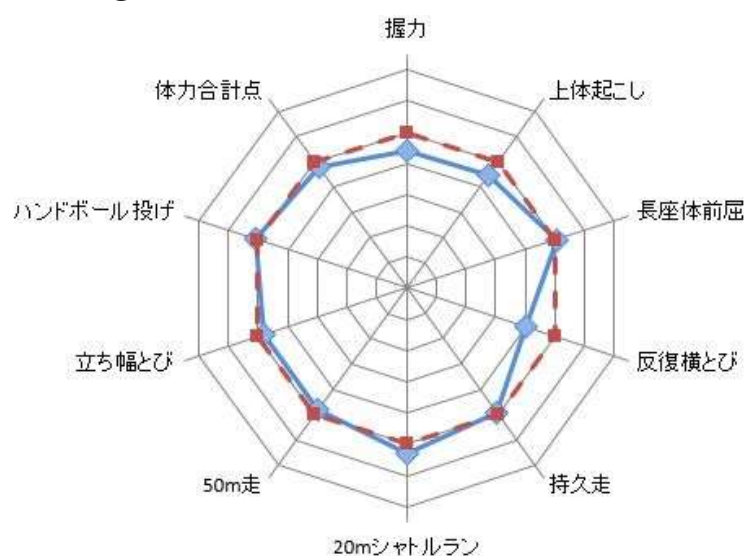
① 各種目の記録及び体力合計点

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点
帯広市	記録	27.92	25.32	43.77	49.52	407.66	81.46	8.05	195.07	20.40	40.73
	全国差	▲ 0.88	▲ 0.67	0.10	▲ 1.67	▲ 1.28	1.58	▲ 0.04	▲ 1.29	0.09	▲ 0.45
	全道差	▲ 1.04	0.03	1.33	0.25	18.15	8.18	0.14	1.73	0.63	1.42
全国	記録	28.80	25.99	43.67	51.19	406.38	79.88	8.01	196.36	20.31	41.18
北海道	記録	28.96	25.29	42.44	49.27	425.81	73.28	8.19	193.34	19.77	39.31

※種目の網掛けは全国以上



② 各種目の全国との比較 (T得点)



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点

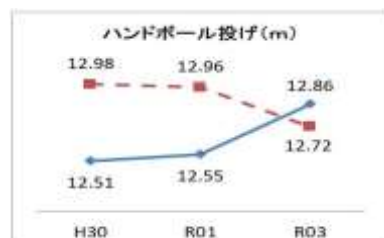
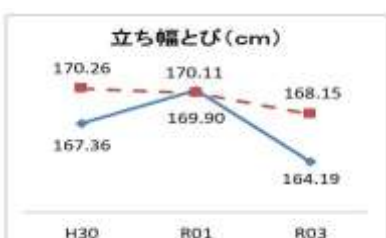
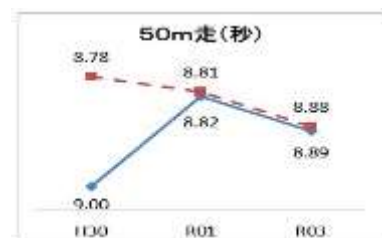
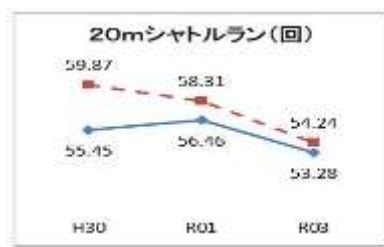
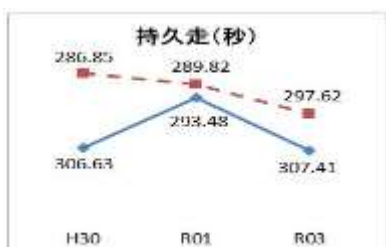
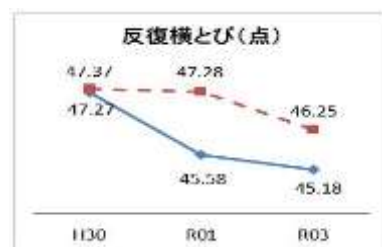
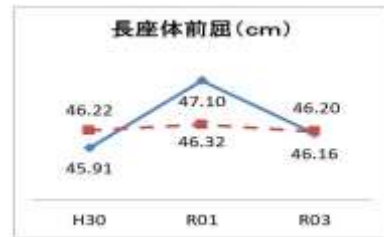
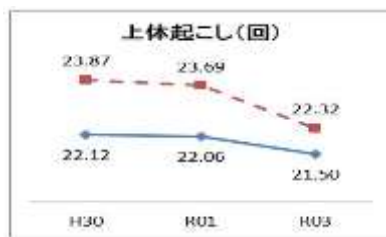
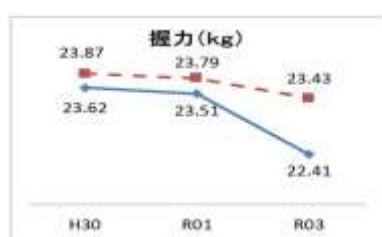
T得点～全国を50とした時の値

(4) 中学校女子

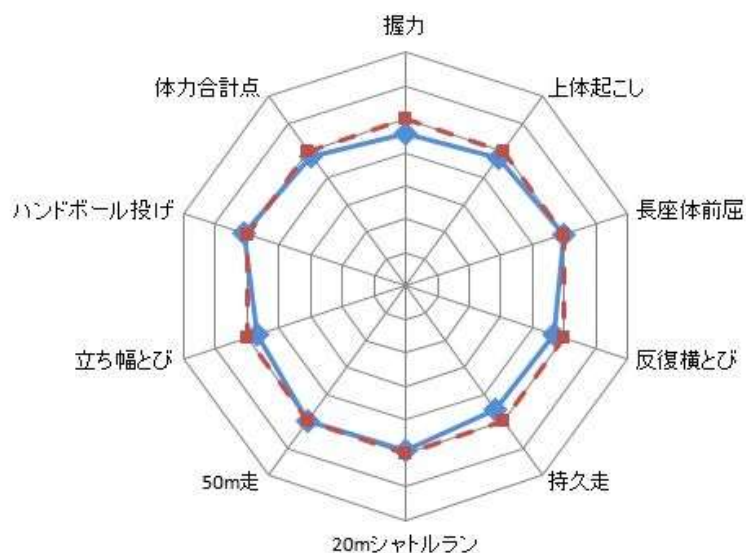
① 各種目の記録及び体力合計点

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点
帯広市	記録	22.41	21.50	46.16	45.18	307.41	53.28	8.89	164.19	12.86	47.34
	全国差	▲ 1.02	▲ 0.82	▲ 0.04	▲ 1.07	▲ 9.79	▲ 0.96	▲ 0.01	▲ 3.96	0.14	▲ 1.22
	全道差	▲ 0.46	0.64	1.39	1.27	7.89	6.26	0.21	2.93	0.87	2.57
全国	記録	23.43	22.32	46.20	46.25	297.62	54.24	8.88	168.15	12.72	48.56
北海道	記録	22.87	20.86	44.77	43.91	315.30	47.02	9.10	161.26	11.99	44.77

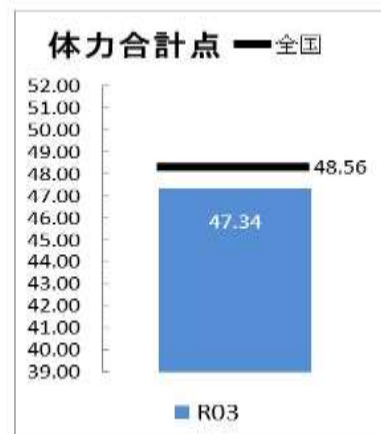
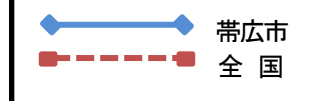
※種目の網掛けは全国以上



② 各種目の全国との比較 (T得点)



T得点～全国を50とした時の値



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

9 児童生徒質問紙調査の状況 ※()は全国との差、単位は%

- (1) 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものである」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校の男女いずれも全国を上回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	72.0 (+4.5)	62.3 (+3.4)	72.3 (+4.9)	66.3 (+10.9)
全国	67.5	58.9	67.4	55.4

- (2) 「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校の男女いずれも全国を上回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	64.1 (+2.1)	56.3 (+2.5)	59.7 (+2.9)	47.1 (+3.3)
全国	62.0	53.8	56.8	43.8

- (3) 「学校の運動部（部活動）や地域のスポーツクラブに入っている（所属している）」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校の男女いずれも全国を下回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	59.6 (▲14.3)	41.5 (▲10.7)	83.6 (▲9.0)	63.5 (▲5.0)
全国	73.9	52.2	92.6	68.5

- (4) 「放課後や学校が休みの日に、運動部（運動部活動）や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがよくある」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校の男女いずれも全国を上回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	43.7 (+1.5)	41.7 (+8.3)	35.6 (+2.9)	22.9 (+4.6)
全国	42.2	33.4	32.7	18.3

- (5) 「体力テストの結果などを基に体力の向上について、自分なりの目標を立てている」と回答した児童生徒の割合は、中学校では男女いずれも全国を上回っている一方で、小学校では男女いずれも全国を下回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	65.7 (▲2.9)	67.5 (▲0.5)	68.1 (+3.7)	68.3 (+4.3)
全国	68.6	67.9	64.4	64.0

- (6) 「新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在とを比較して、あなたの運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間が増えた」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校の男女いずれも全国を上回っている。

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	29.5 (+0.3)	35.4 (+7.1)	33.6 (+1.8)	32.4 (+5.3)
全国	29.2	28.3	31.8	27.1

10 学校質問紙調査の状況 ※()は全国との差、単位は％

- (1) 「令和2年度、児童（生徒）の体力・運動能力の向上に係る取組について学校全体の体力・運動能力向上の目標設定をした」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回った。

	小学校	中学校
帯広市	96.2 (+20.4)	92.9 (+24.6)
全国	75.8	68.3

- (2) 「学校の体育の授業について調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回った。

	小学校	中学校
帯広市	65.4 (+19.6)	92.9 (+36.9)
全国	45.8	56.0

- (3) 「運動やスポーツ、児童（生徒）の体力についての家庭との連携を行った」回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回り、本市では全ての小・中学校で行っていた。

	小学校	中学校
帯広市	100.0 (+12.7)	100.0 (+31.0)
全国	87.3	69.0

- (4) 教師同士での取組、指導方法の工夫・改善についての検討機会を設けた学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回った。

	小学校	中学校
帯広市	92.3 (+8.0)	100.0 (+14.4)
全国	84.3	85.6

- (5) 「体育（保健体育）授業での児童（生徒）同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れている」と回答した学校の割合は、中学校は全国を上回り、小学校では全国を下回った。

	小学校	中学校
帯広市	57.7 (▲1.4)	100.0 (+11.9)
全国	59.1	88.1

- (6) 「体育（保健体育）の指導での授業中のICTの活用で児童（生徒）の動きを撮影した」と回答した学校の割合は、中学校は全国を上回り、小学校では全国を下回った。

	小学校	中学校
帯広市	65.4 (▲14.3)	92.9 (+13.0)
全国	79.7	79.9

- (7) 新体力テストを調査対象の学年以外でも実施した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回った。

	小学校	中学校
帯広市	96.8 (+12.1)	97.6 (+0.7)
全国	84.7	96.9

- (8) 新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在との比較において、体力が低下している児童（生徒）が増えたと感じる学校の割合は、小・中学校では全国を下回った。

	小学校	中学校
帯広市	57.7 (▲14.7)	71.4 (▲3.2)
全国	72.4	74.6

11 改善に向けた帯広市の取組

本調査の結果から、最近の本市の状況として、次のような成果と課題が明らかになった。

(1) 体力・運動能力の傾向から

小学校において、男子は「握力」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」の3種目（令和元年度比同）で、女子は「握力」「長座体前屈」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の4種目（令和元年度比－1種目）で、全国平均を上回った。一方、体力合計点では、男女ともに全国平均を下回っている。

中学校において、男子は「長座体前屈」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」の3種目（前年度比－3種目）で、全国平均を上回った。女子については、「ハンドボール投げ」の1種目（令和元年度比－1種目）で、全国平均を上回った。一方、体力合計点では、男女ともに全国平均を下回ったものの、令和元年度と比較すると、中学校においては、全国平均との差が縮まり、改善の傾向が見られた。

(2) 児童生徒質問紙、学校質問紙から

児童生徒質問紙において、小・中学校ともに「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものである」「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回っている。一方、「体力テストの結果などを基に体力の向上について、自分なりの目標を立てている」と回答した児童生徒の割合は、中学校では男女いずれも全国平均を上回ったが、小学校では男女いずれも全国平均を下回っている。

学校質問紙において、小・中学校ともに全ての学校で、「体力・運動能力を向上させるための目標を設定し、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善」を行ったり、「運動やスポーツ、児童（生徒）の体力についての家庭との連携」を行ったりしている。一方、「体育（保健体育）授業での児童（生徒）同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れている」、「体育（保健体育）の指導での授業中のICTの活用で児童（生徒）の動きを撮影した」と回答した学校の割合は、中学校では全国を上回っているが、小学校では全国を下回っている。

以上のことから、次のことを各学校に働きかけ、教育活動等の充実を図る。また、引き続き関係部署、関係機関等と十分に連携を図り、児童生徒を対象とした地域行事（自治会主催の運動・スポーツ行事など）の活性化を図るとともに、児童生徒の生活習慣・運動習慣の改善に向け、家庭や地域への啓発活動に努める。

- 各学校が本調査結果の分析により自校の児童生徒の体力・運動能力の課題を明らかにし、学校教育活動の充実を図るための根拠として活用し、体力・運動能力や運動習慣等の向上に継続して取り組むこと。
- 児童生徒の経年での体力・運動能力の傾向を把握し、体力・運動能力向上の対策に資するため、来年度以降も、新体力テストを全ての学年において全種目実施すること。
- 小中一貫教育の視点に立ち、エリア・ファミリー内の中学校保健体育科教諭が、小学校への乗り入れ授業を積極的に実施するなど、小・中学校が連携するとともに、タブレット端末を活用し、話し合いを取り入れた授業改善を図り、義務教育9年間を見通した体力・運動能力の向上に組織的に取り組むこと。
- 各学校の実態に応じ、体力向上に向けた「1校1実践」の取組を継続して実施し、取組内容をエリア・ファミリー内で共有し、「1エリア1実践」に向けて検討を始め、エリア内での環境づくりや運動習慣の向上等を図ること。
- 児童生徒の体力・運動能力向上のため、体力向上推進プロジェクトチームを活用した教職員指導力向上研修の充実を図ること。
- 帯広市PTA連合会と連携した取組を継続し、望ましい食習慣に関するリーフレット等を通じてバランスのとれた食事の大切さを考えるなど食育指導の充実を図るとともに、ノーテレビデーの取組や親子で一緒に身体を動かすことや児童生徒の体力・運動能力や健康と家庭生活の在り方の結びつきについて啓発するなど、家庭や地域社会と連携した取組の一層の充実を図ること。
- 日常的な体力づくりとともに、運動できる環境を工夫するなど、新体力テストの試技技能等にも着目しながら、年間を見通した一人一人の体力・運動能力や運動習慣等の向上を図ること。